

第5学年3組 音楽科学習指導案

授業提案者 長谷場 由久子

1 題材名

へんそうの達人

2 題材の目標

| B鑑賞(1)ア、イ | | 共通事項(1)ア |
|---|--|--|
| 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
| 曲想と、変奏ごとに変化している音色やリズム、強弱等の音楽を形づくっている要素と曲の変化とのかわりについて理解することができる。 | 変奏する際に変化している、音色やリズム、強弱等の音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すおもしろさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととのかわりについて考え、変奏曲の特徴やおもしろさ等を見いだし、曲全体を味わって聴くことができる。 | 主題を変奏する音楽に興味・関心をもち、楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、変奏曲に親しもうとする。 |

3 題材の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| ① 曲想と、変奏ごとに変化している音色やリズム、強弱等の音楽を形づくっている要素と曲の変化とのかわりについて理解している。 | ① 音色やリズム、強弱等の変奏によって変化している音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すおもしろさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととのかわりについて考え、変奏曲の特徴やおもしろさ等を見いだし、曲全体を味わって聴いている。 | ① 主題を変奏する音楽に興味・関心をもち、楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |

4 題材について

本題材は、様々な音楽を形づくっている要素を変化させる変奏曲を聴いたり、即興的に変奏させて遊んだりすることをとおして、変奏曲のおもしろさへの興味・関心を高めることをねらいとしている。

変奏曲は、「主題」となる旋律と、主題の音色やリズムや強弱等を変えて演奏していく「変奏」で構成された音楽である。教材曲「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」は、変奏ごとに主役となる楽器が変化するため、主に音色の変化を捉えやすい曲である。また、音色の変化とともに、リズムや強弱、速度等も変わるため、変奏によって変化していく情景を想像しやすい。

本題材を学習することは、音色やリズム、強弱等の音楽を形づくっている要素が変化する変奏曲のおもしろさを仲間と味わうことができ、本校で育成をめざす協働力や感性を育むうえで意義深い。

5 子どもについて

子どもは、題材「オーケストラのみりょく」で、オーケストラの楽器に注目して鑑賞をした。そのなかでは、楽器群ごとの音色や演奏の仕方の特徴に気付く姿が見られた。また、音色や旋律を基に、曲が変化するところを見付け、曲想とかかわらせながら鑑賞することができた。一方で、生活のなかのオーケストラ音楽について尋ねると、演奏会やクラシック音楽のテレビ番組だけを挙げる子どもが多く、他にも日常に溢れているはずのオーケストラの音楽に意識を向けられていない子どももいる。

音楽科の学習においては、曲の情景を豊かに思い浮かべることができる。一方で、演奏の技能や音楽的な知識の差から、協働的な活動の際に主体的に参加できない子どももいる。全ての子どもが、仲間と一緒に活動する意義を感じ、互いのよさを発揮することができるよう、指導を継続している。

6 子どもが「学びをつなぐ」ための学習指導

○ 研究内容1：協働的な学びをとおして音楽に対する感性を育む授業の展開

本題材の導入では、仲間と一緒に即興的に曲を変奏して遊ばせる。このように協働的な学習を学習の始めから仕組むことで、変奏曲をつくる際に「何を変化させればよいか」という仲間の課題も常に意識しながら、その後の活動に臨むことを期待する。さらに、毎時間の終末では、変奏曲のおもしろさについての考え方や、その考えにかかわった仲間の意見や表現をふりかえらせることで、協働的に学びを深める意義や仲間とともに学習したことによる自分の学びの変容を実感することができるようになる。

○ 研究内容2：音楽科と日常生活をつなぐ教材の工夫

本題材では、教材曲に「きらきら星」と「かえるの歌」を取り入れる。「きらきら星」や「かえるの歌」は、低学年の既習曲でもあり、幼稚園や保育園等で歌っていた子どもも多く、子どもにとって非常に身近な音楽である。変奏しやすく、その情景もイメージしやすい。本時は、「きらきら星」を基に、教師が変奏曲をつくり、その範奏を鑑賞する時間を設ける。そこから、「変奏のアイテム（音色やリズム、強弱等の変化させる音楽を形づくっている要素）」やそのアイテムを使用した際の曲のイメージの変化に気付かせ、後に鑑賞する「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」のよさや、変奏曲の特徴やおもしろさを見いだすことができるようになる。

7 題材指導計画（4時間）

| 段階 | 主な学習活動及び学習内容 | 主な教師のかかわり | 知・技 | 思 | 態 |
|---------|---|--|-----|--------------|---|
| 本時 | <p>1 実際に、曲を変奏させて遊びながら、変奏曲とは何かということについて興味・関心をもつ。〈0.5時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 変奏遊び ○ 変奏の仕方 <p>2 「きらきら星」の変奏曲を聴き、変奏をするために必要な変奏のアイテムを見付け、まとめる。〈0.5時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 変奏による曲の変化 ○ 「きらきら星」の変奏曲に出てくる変奏のアイテム | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「きらきら星」を即興的に変奏させて遊ばせることで、変奏することへの興味・関心をもったり、何をどのように変奏すればよいかという問い合わせをもったりすることができるようになる。 ○ 変奏ごとに、そこで使われている変奏のアイテムとイメージできる情景をステップチャートでまとめさせることで、変奏曲の特徴や、変奏の仕方に気付くことができるようになる。 ○ 「きらきら星」の変奏曲から、変化している音楽を形づくっている要素を聴き取らせ、整理してまとめることで、変奏のアイテムとして次時以降の学習でも活用することができるようになる。 | | | |
| 生み出す(1) | <p>3 「かえるの歌」を変奏させて遊び、学級全体でつなげて、自分たちだけの変奏曲「かえるの大冒険」をつくる。〈1時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 変奏のアイテムとその効果 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 2で見いだした変奏のアイテムを使って、「かえるの歌」を変奏させることで、変奏のアイテムを使ったときの効果を実感することができるようになる。 ○ 変奏曲「かえるの大冒険」を作成する際に、まず表現したい場面を考えさせることで、それに合った変奏をするためにはどうすればよいかを考えながら、即興的な表現をすることができるようになる。 | | | |
| 挑む(1) | <p>4 「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」を聴いて、変奏曲のおもしろさについて考える。〈2時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ます」に出てくる変奏のアイテムとその効果 ○ 変奏曲のおもしろさ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 2と同じように、ステップチャートを活用して、変奏のアイテムとその効果をまとめさせることで、変奏による変化の仕方を理解することができるようになる。 <p>【すべての時間の終末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まとめでは、「変奏曲のおもしろさとは」に続いて、自分の考えを前時の考えに並べて書かせることで、学習を経た自分の変容を実感することができるようになる。 ○ さらに、上記の考え方の変容にかかわった仲間の意見や表現をふりかえらせることで、仲間と一緒に学ぶ意義を見いだすことができるようになる。 | ① | ① | ① |
| 生かす(2) | | | | 行動観察 記述分析 | |

8 指導過程

| 学習活動及び学習内容 | 教師のかかわり |
|---|--|
| <p>1 「へんそう」は、何かアイテムを用いることが必要であることに気付き、本題材の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「きらきら星」を「変装」させるときに必要なアイテム ○ 本時のめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>「変奏」するときに必要なアイテムは何か、考えよう。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 星を擬人化させたイラストを用いて、「かわいいきらきら星にするためにはどうしたらよいか。」と聞くことで、「変装」するには何かアイテムが必要であることに気付くことができるようになる。 ○ 「これは、変奏できないかな。」と問い合わせ、「きらきら星」の旋律を聴かせることで、イラストと同様にアイテムを使えば変奏できそうだという見通しをもち、本時のめあてにつなげることができるようになる。 |
| <p>2 「変奏曲」について知り、変奏曲のおもしろさについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 変奏曲について ○ 変奏曲のおもしろさについて | <ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の「さくらさくら変奏曲」の主題と第1変奏を聴かせることで、「変奏曲」とは、曲を変奏させ、それらをつなげた音楽であることを確認することができるようになる。 ○ 今の時点での変奏曲のおもしろさを考え、記述させておくことで、1単位時間や題材全体をとおして、考えの変容をみることができるようになる。 |
| <p>3 「きらきら星」を変奏させて遊び、変奏の際に何をどのように変えればよいかということについて問い合わせをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「きらきら星」の旋律の演奏 ○ 変奏体験 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> 大きくて笑っている星だから、音を強くして弾いてみよう。 </div> </div> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 星を擬人化させたイラストを用いて、その外見を変えながら提示することで、イラストに合った変奏のイメージをもつことができるようになる。 ○ 変奏体験の後に感想を発表させ、「何をどのように変奏させればよいか。」という問い合わせや変奏する難しさを全体で共有することで、参考曲を鑑賞したいという思いをもつことができるようになる。 |
| <p>4 「きらきら星」の変奏曲を聴き、どの音楽を形づくっている要素が変化しているかを聴き取り、その曲想について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 変化している音楽を形づくっている要素 ○ 変奏ごとの曲想の変化 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ステップチャートを用いて、主題の曲想の変化をまとめさせる。その後、変化している音楽を形づくっている要素を聴き取らせて、曲想と要素を並べてまとめさせることで、両者をかかわらせながら曲を聞くことができるようになる。 ○ 変化している音楽を形づくっている要素が聴き取れない子どもには、直前の変奏と比較できるように「さっきとどのように変わったのか。」等と聞くことで、変化を感じることができるようになる。 |
| <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 【タイトル】 ふつうの星</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>かなしい星 … 暗い・遅い</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>元気な星 … 速い・強い・弾む</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 変奏のアイテム <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 音色・リズム・強弱・速さ 調(明るい・暗い) 等…</div> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 変化した音楽を形づくっている要素を全体で共有し、「変奏のアイテム」として整理することで、次時以降の学習でも生かすことができるようになる。 |
| <p>5 本時の学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 変奏曲のおもしろさについて ○ 本時の学びにかかわった仲間の意見や表現 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>変奏曲のおもしろさとは、いろいろな情景を表現できるところだな。体験をしていたときに、○○さんが、強弱を大きく変えたのを聴いて、全然ちがう星を思い浮かべることができたよ。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「変奏曲のおもしろさとは」に続いて、2で書いた意見の隣に書かせることで、学習による変容をみることができるようになる。 ○ 特に体験中や全体で意見を共有する際、仲間の意見や表現をふりかえっているものを価値付けることで、仲間と共に演奏することのよさや、仲間の意見を聞く大切さを感じることができるようになる。 |